

# 変えられる



## 教育・仕事・社会

国民の運動と世論が作りだした新政権。高校授業料無償化、生活保護の母子加算復活など、いよいよ政治が動きはじめました。がんばれば要求が実ります。



大教組は文科省と直接交渉。全国学テ中止・教員免許更新制度廃止を迫る(09.11.9)



子ども・教育を考えあった「教育のつどい大阪2009」。全体会では青年教職員が南中ソーランを披露(09.10.31)



國枝渉さん

(守口市立第四中学校)

公立高校入学枠拡大、高校授業料無償化

## お金の心配なく学べる社会に

中学校の進路指導で最も心を痛めるのが、「お金の心配」。「せめて高校へ」と、保護者のなかには無理をしてお金を工面される方々もいらっしゃいます。運動がきりひらいた入学枠拡大、授業料無償化で、高校に行けない子ども、中退する子どもが少なくなることを期待しています。

府立支援学校4校の新設に道ひらく

## 父母とのつながり大切にしたい運動を

「学ぶための教室がないなんて人権侵害に匹敵する」「この子らの笑顔を奪わないで」と支援学校建設を要望して十数年。今、学校建設の重い扉をこじ開けつつあります。それは父母との共同の運動の成果であり、そしてなによりも教職員組合運動の大きな成果です。



鈴木浩司さん

(府立寝屋川支援学校)